

経営比較分析表（令和2年度決算）

島根県隠岐広域連合（事業会計分） 隠岐病院

法適用区分	業種名・事業名	病院区分	類似区分	管理者の情報
当然財務	病院事業	一般病院	100床以上~200床未満	非設置
経営形態	診療科数	DPC対象病院	特殊診療機能 ※1	指定病院の状況 ※2
直営	16	-	ド透訓	救急へ災輸
人口（人）	建物面積（㎡）	不採算地区病院	不採算地区中核病院	看護配置
-	9,479	第1種該当	-	10:1

※1 ド…人間ドック 透…人工透析 I…ICU・CCU 未…NICU・未熟児室 訓…運動機能訓練室 ガ…ガン（放射線）診療

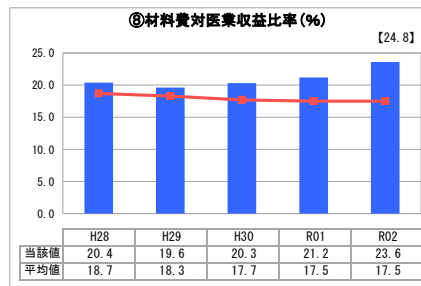
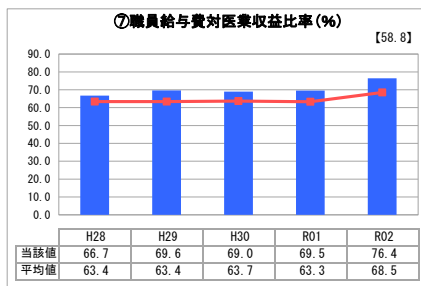
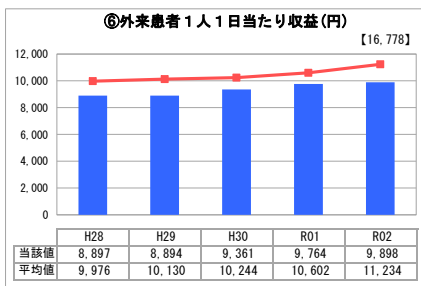
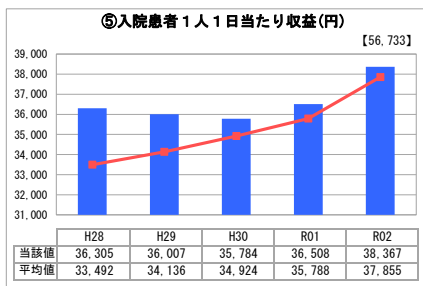
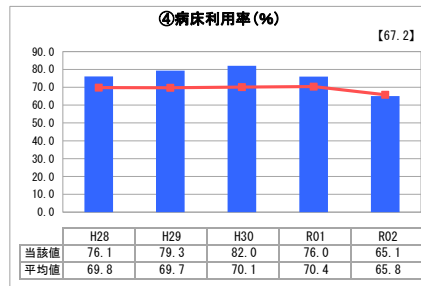
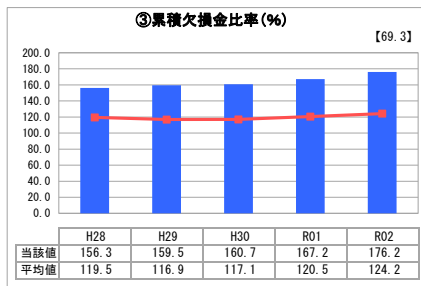
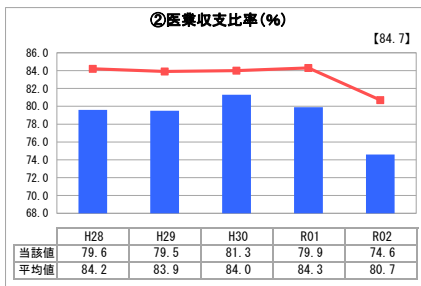
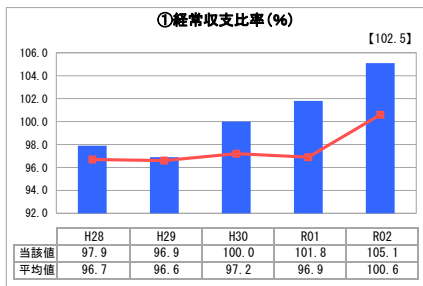
※2 救…救急告示病院 臨…臨床研修病院 が…がん診療連携拠点病院 感…感染症指定医療機関 へ…へき地医療拠点病院 災…災害拠点病院 地…地域医療支援病院 特…特定機能病院 輸…病院群輪番制病院

許可病床（一般）	許可病床（療養）	許可病床（結核）
91	-	-
許可病床（精神）	許可病床（感染症）	許可病床（合計）
22	2	115
稼働病床（一般）	稼働病床（療養）	稼働病床（一般+療養）
91	-	91

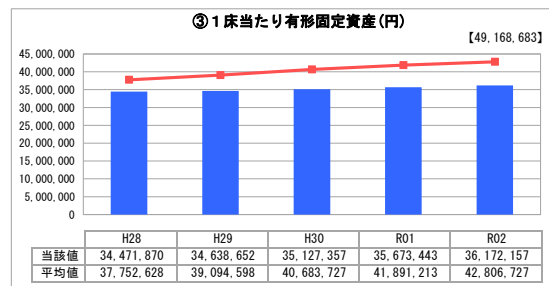
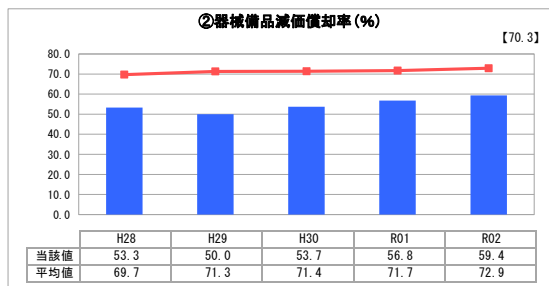
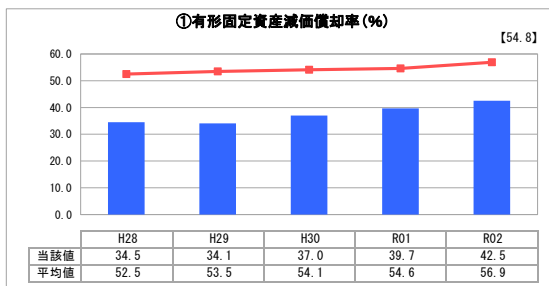
グラフ凡例

- 当該病院値（当該値）
- 類似病院平均値（平均値）
- [] 令和2年度全国平均

1. 経営の健全性・効率性



2. 老朽化の状況



※「類似病院平均値（平均値）」については、病院区分及び類似区分に基づき算出している。

公立病院改革に係る主な取組（直近の実施時期）

再編・ネットワーク化	地方独立行政法人化	指定管理者制度導入
-	-	-
年度	年度	年度

I 地域において担っている役割

当院は隠岐広域圏（島後地区）唯一の入院機能（115床）を有する公立病院であり、外来部門では16診療科を擁し、地域中核病院として救急・災害・人工透析・小児・周産期・精神といった不採算部門も含め、急性期から在宅医療まで幅広い診療を担っている。

II 分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

◆経営の健全性について
医業収支の赤字部分を医業外収益の負担金交付金で補填している状況が続いており、医業収支の改善が必要である。

◆経営の効率性について
当院は隠岐広域圏の中核病院として新型コロナウイルス感染症にかかる感染防止対策を行ってきたところであり、新型コロナウイルス感染症対策にかかる病床を確保したことに伴い、病床利用率は減少したものの、新型コロナウイルス感染症関連補助金の増収に伴い経常収支比率は改善した。

2. 老朽化の状況について

平成24年に新築し、病院施設及び器械備品についても病院新築に伴い一部更新を行ったため、有形固定資産及び器械備品償却率は全国平均及び類似病院の平均値に比べ低い状況にある。

全体総括

経営面については、令和元年度から導入している経営コンサルタントからの実行支援を受けながら、経営改革計画の達成に向けて、引き続き経営改善の取り組みを進めている。

診療体制については、島根県及び島根大学からの支援により、常勤医18名を維持、常勤医不在の診療科については、島根大学等による非常勤医師の派遣により診療体制を確保することができた。

医療従事者の確保については、招聘活動、負担軽減対策及び離職防止対策等を積極的に取り組んでいるものの確保困難な状況が続いている。院内に設置している「島の医療人育成センター」を中心に引き続き専攻医、初期臨床研修医、医学生及び看護学生の研修受入の取り組みを強化することで医療従事者の確保につなげていく。